

# <2010年度MCFAJクラブマントライアル競技規則書>

競技会はこの一般競技規則に基づいて行われ技規の詳細な規則は特別規則及び公式通知によって示される。

## 1 トライアル定義

トライアルとは自然の地形を利用して行われ走行のバランステクニック及び正確なタイムキーピングが結果の基礎を構成する競技である。コースのなかには採点区間(セクション)が組み込まれ採点とタイムキーピングにより結果が表示される。

## 2 競技会の名称

2010 CLUBMAN トライアル選手権シリーズ  
(第42回全日本トライアルを含む)

## 3 主催者

全日本モーターサイクルクラブ連盟

## 4 大会審査委員会

各大会の公式通知及び公式プログラムにより示される。

## 5 大会役員及び競技役員

各大会の公式通知及び公式プログラムにより示される。

## 6 開催場所：申込書に示す。

## 7 開催日及び締切り：申込書に示す。

## 8 参加資格

MCFAJ2010トライアルライセンス所持者または2010トライアル限定ライセンス所持者であること。上記ライセンスを所持しない方が、当日申し込みをする場合は当日申込みをもって「ワンダーライセンス」所持者として認定し、出場を可とする。

## 9 クラスおよび出場料

- 1)クラス分け：E(エキスパート)=上級者 / INT (インターメディアット)=中級者 / N (ノービス)=入門・初級者
- 2)出場料：事前エントリー：¥3,500 / 当日エントリー：¥4,500)

## 10 出場申込受付期間及び場所

- 1)受付期間：申込書に示す
- 2)申込先  
全日本モーターサイクルクラブ連盟 事務局  
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-19-101 TEL.03-6273-2807 / FAX.03-6273-2808

## 11 定員

- 1)各大会のスケジュール上、受付を制限することがある。その場合は次回優先とする。
- 2)1クラス3台以上でクラス成立とする。

## 12 出場許可及び拒否

- 1)正式に出場が受理されたものについては出場許可証をもって通知する。
- 2)出場が拒否されたものについては出場料は返却する。

## 13 車両規則：トライアル車両規則 基本仕様による。※トレッキングクラスは別項目のトレッキングクラス車両規定参照。

## 14 ライダー、車両及びクラスの変更

- 1)ライダー変更は一切認めない。
- 2)車両交換は原則として認めないが、やむをえない場合はスタート30分前までに競技委員会に申告したものについては考慮する。
- 3)クラス変更は一切認めない。

## 15 入賞及び得点ポイント

- 1)入賞 / ポイント  
<Eクラス>  
入賞=参加台数の20% (上位の方) →1st.クラス / 次の10%→2nd.クラス  
ポイント=25ポイント制で、15位までフルポイント計上  
(例) 20台の時、1st.クラス：1～4位 / 2nd.クラス：5～6位 / 25ポイント制でフルポイント計上  
<INTクラス>  
入賞=参加台数の20% (上位の方) →1st.クラス / 次の10%→2nd.クラス  
ポイント=25ポイント制で、入賞者はフルポイント計上 / 入賞外50%までハーフポイント計上  
(例) 20台の時、1st.：1～4位 / 2nd.：5～6位 / 6位までフル・7～10位ハーフポイント計上  
<Nクラス><トレッキングクラス>  
入賞=1～6位まで。当日表彰あり / ポイント=25ポイント制で1～6位フルポイント計上  
<25点法ポイント計算表>  
1位=25ポイント / 2位=22ポイント / 3位=20ポイント / 4位=18ポイント / 5位=16ポイント /  
6位=15ポイント / 7位=14ポイント / 8位=13ポイント / 9位=12ポイント / 10位=11ポイント /  
11位=10ポイント / 12位=9ポイント / 13位=8ポイント / 14位=7ポイント / 15位=6ポイント  
(※全日本トライアルは2倍)

## 16 公式通知

競技の詳細及び指示は公式通知によって示される。

## 17 競技ナンバー (ゼッケン)

参加車両の競技ナンバーは参加プログラムにより通知されるゼッケンナンバーで出走すること。  
ベースの色と数字の色はクラス別に色分され、オブザーバーからはっきりと識別できる書体であること。  
/E=緑地×白文字 / INT=黄色地×黒文字 / N=白地×黒文字  
※トレッキングクラスはMCFAJが用意する胸ゼッケン着用のこと。

## 18 ライダーの装備

- 1)ヘルメットはJIS規格以上のヘルメットであること。
- 2)ウェア、ブーツ、手袋、パンツ類はすべてトライアル用、または身体の安全を確保するものであること。

## 19 公式車両検査

出場ライダーは定められた時間内に車検場にて車両の検査を受けなければならない。  
当該年度のMCFAJ会員ライセンスを提示すること (当日申し込みによる参加者を除く)。

## 20 ライダースミューティング

ライダーは必ず出席して注意事項を確認しなければならない。  
また、ここでの注意は特別規則として効力を有する。

## 21 スタート

- 1)スタートは公式プログラムに示された通り、1分間隔で行う。
- 2)時間どおりスタートできない場合は1分につき1点の減点となり15分を過ぎたものは失格となる。

## 22 サインオン、サインオフ

ライダーはスタート前、フィニッシュ後、所定の用紙にサインオン、サインオフをしなければならない。

## 23 持ち時間

- 1)すべてのライダーは与えられた時間内に全競技を終了しなければならない。フィニッシュ予定時間に遅れた場合は1分につき1点の減点となり、30分をこえた場合は失格となる。
- 2)持ち時間の算出は次のとおりを原則とする。コースの距離を平均15km/hで計算し、各セクションの下見時間3分を加算した時間とする。

## 24 バックマーカー (BM)

バックマーカーは最終ライダーのスタート後15分後に出発する。バックマーカーに追い抜かれたライダーは失格となる。また、セクションはBMの到着によって閉鎖される。

## 25 コース

- 1)コースは自然の地形を利用して全長約50kmとするが開催会場等の都合により短縮、延長される場合もある。また、周回コースとして設定することが認められる。
- 2)コースは下記に示すコースマークによりはっきりと指示される。
- 3)ライダーはコースマーク通り走行する義務がありコースを外れた場合はその地点より復帰しなければならない。ミスコース、ショートカットは失格とする。
- 4)コースマークの取り付け位置はコース左側でライダーの目の高さより低い位置にある。  
<例>青色系=左折 / 赤色系=右折 / 白色系=直進

## 26 セクション

- 1)セクションの変更：セクションはラップ毎に変更される場合もある。
- 2)セクションの明示はセクションカードに、またはテープにより明示される。
  - ・セクション入口  
右側にセクションナンバー  
左側に(Section Begin)または(IN)
  - ・セクション途中  
右側に赤いカードまたはテープ  
左側に青いカードまたはテープ
  - ・セクション出口  
右側に赤いカード  
左側に(Section End)または(OUT)
- 3)規制カード  
セクションは規制カードを使ってE・INT・N・トレッキングに分けて設定できる。
- 4)セクションの幅  
セクションの幅は1.2m以上とする。
- 5)採点基準  
採点基準は前輪のスピンデルシャフトを基準としセクションに入ったときから出たときまでとする。
- 6)待ち時間  
セクションに5名以上の先行ライダーが待っている場合はオブザーバーに待ち時間の申請ができる。待ち時間は持ち時間に含まれない。

## 27 競技中の順守事項（失格となる事項）

- 1)車検時を除きスタートまでエンジンを始動させてはならない。（ウォーミングアップエリアでのウォーミングは指定時間内はOK）
- 2)ライダーはセクションに入る前にオブザーバーにゼッケンナンバーを大きな声で伝え、セクションインの合図をしなければならない。
- 3)ライダーは競技中の、一切の援助を受けてはならない。  
（但しオフィシャルが認めた場合は除く）
- 4)ライダーは順番通りセクションを通過しなければならない。

## 28 減点法

減点法は0-1-2-3-4-5-10点とする。

- 1) 10点減点
    - ・ライダーがセクション拒否をオブザーバーに申告した場合。
  - 2) 5点減点
    - ・両足着地で、あきらかに前進を止めた場合。
    - ・タイヤがセクションカードまたはゲートマーカーに触れて移動させ、オブザーバーがそれらの位置の修正をした場合。
    - ・第3者援助を受けた場合。ただし、他のクラスのゲートマーカーを車両または身体の一部で移動させても減点の対象にならない。
    - ・再キックで始動させた場合
    - ・タイヤがセクションテープを切るか外側にでた場合（テープの場合、車体または身体の一部が接触しても減点の対象とならない）。
  - 3) 4点減点 4回以上の足つき
  - 4) 3点減点 3回の足つき
  - 5) 2点減点 2回の足つき
  - 6) 1点減点 1回の足つき
- ※足を着いたとき、足が「カド」に接触しても足つきの減点だけである

## 29 障害物

- 1)トライ中のライダーが予測しない障害物（落石、動物の侵入、人の侵入）に妨害された場合、オブザーバーの判断によって再トライが認められる。
- 2)トライが実施される場合、セクションの妨害があった地点までの減点は最初のトライのものがそのまま有効となる。
- 3)再トライは妨害が生じた地点よりスタート位置と之間で実施し、その場所はライダーの希望する地点からスタートできる。

## 30 練習

トライアル場を除きトライアル開催のいかなる場所においても練習は禁止される。これに違反したライダーは失格とする。  
※ウォームアップタイム：各競技場においてそのつど時間指定される。

## 31 競技終了

- 1)総減点の少ないものから順位が決まる。
  - 2)同点の場合は次の判定基準に従う。
    - クリーン数の多いものが上位となる。
    - 1点減点の多いものが上位となる。
    - 2点減点の多いものが上位となる。
    - 3点減点の多いものが上位となる。
- 上記以外で判断出来ないものは主催者の判断に委ねる。

## 32

### 2010年クラブマントライアル特別規定

本年度は競技活性化のため、全クラス当日申込み可とします。

## 33 抗議

- 1)参加者は自分が不当に処理されていると判断する場合はこれに対して抗議する権利を有する。ただし、規則違反及び競技役員の判定に対しての抗議は認められない。
- 2)抗議をする権利を有するものは、その年度のMCFAJ登録会員であること。
- 3)抗議は文書によってなし、抗議保証金として、1件1万円を添え競技長に提出すること。
- 4)大会審査委員会の決定にたいしては抗議することはできない。
- 5)抗議保証金は抗議が成立した場合のみ返還される。
- 6)セクションではオブザーバーに減点の確認はできるが判定に対しての抗議をした場合は失格となる。

## 34 エントラントの注意事項

大会期間中はスポーツマンシップにのっとり行動をとり競技役員の指示に従うこと。反則行為があった場合は当該クラブ全体が責任を負うものとする。

## 35 スポーツ安全保険への加入

2010年4月1日以降の大会より上記保険への加入しての参加が義務づけられます。（ワンデーライセンスの方も加入をお願いします）2010年3月31日までの大会は、旧見舞金制度で対処することといたします。（2010ライセンスまたはトライアル限定ライセンス所持者）

## 36 本規則の施行

本規則は2010年1月1日より施行する。

# <車両規則>（基本仕様）

## 1) 参加車両

クローズドエリアでの開催のため、一般性生産型モーターサイクル（トライアル車）、およびトライアル競技専用車両が出走可能。

## 2) クラス分け

- 排気量による区分はない。資格については下記の通りとする。
- ◎エキスパート=E
  - ◎インターミディエット=INT
  - ◎ノービス=N

## 3) エキゾーストパイプ

- 1)サイレンサーを備え、音量規制に関する必要条件を満たしていなければならない。87db/A以下±1db/A
- 4スト車両のマフラーは基本的にノーマル状態であること。
- 2)その後端はリヤタイヤ後方の垂直線より突出してはならない。

## 4) フェンダー

- 1)フェンダーを取り付ける場合はタイヤ幅よりも左右それぞれ10mm以上張り出していること。
- 2)フロントフェンダーはタイヤの周囲を100度以上カバーしていること。また、フロントフェンダーの前端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は45度以上60度以内とする。
- 3)リヤフェンダーはホイールの周囲を120度以上カバーしていること。また、リヤフェンダーの後端はリアアクスルを通る垂直線の後方25度以上カバーしていること。

## 5) コントローレバー

- 1)クラッチ及びブレーキレバーの先端は直径19mm以上の球形に作られ容易に脱落するものであってはならない。
- 2)レバーの長さはピボット部より200mm以内とする。

## 6) ハンドルバー

- 1)ハンドルバーの幅は600mm以上850mm以内とする。
- 2)グリップは150mm以内とする。
- 3)ハンドルの切れ角は中心より20度以上であること。また、左右一杯にきったときハンドルとタンクの間は10mm以上あること。

## 7) フットレスト

フットレストは前後車輪の中心を通る線の上より下側に、そして後輪の中心を通過する垂直線より前側に取り付けられ容易に操作できる位置にあること。

## 8) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていること。

## 9) タイヤ

トライアル用として一般に販売されているものに限る。他の目的で生産されたロードレース、モトクロス用等の使用は認めない。また、トレッドを短くしたりチェーン、スパイク等の滑り止め加工をしてはならない。

## 10) ライディングナンバー（ゼッケン、車番）

ヘッドライトを外し、フロントゼッケンプレートを必ず装着すること。サイズ=タテ13cm×ヨコ18cm以上  
ベースの色と数字の色はクラス別に色分けされ、オブザーバーからはっきりと識別できる書体・大きさであること。  
E=緑地×白文字/INT=黄色地×黒文字/N=白地×黒文字

<文字例>

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

# <トレッキングクラス特別規定>

1) 参加車両：トライアル車以外の車両で、かつ一般に市販された車両。

2) クラス分け：トレッキングクラスとしてのみ行うため、技量による区分けは行わない。

3) エキゾーストパイプ/4) フェンダー/5) コントローレバー/6) ハンドルバー/7) フットレスト/8) ブレーキまで同上

9) タイヤ：タイヤはトライアルタイヤの装着が望ましい。※ただし白井トライアルパークに限ってはトライアルタイヤ装着義務。

10) ライディングナンバー：参加者はMCFAJが用意する胸ゼッケンを着用し走行すること。ゴール後は速やかに返却すること。

11) 保安部品：クローズド会場である為、バックミラーなど保安部品は取り外して出走のこと。

12) 入賞およびポイント：ポイントはMCFAJ登録会員に限る。